

理数科通信

岩手県立水沢高等学校
第16号 令和5年2月7日発行

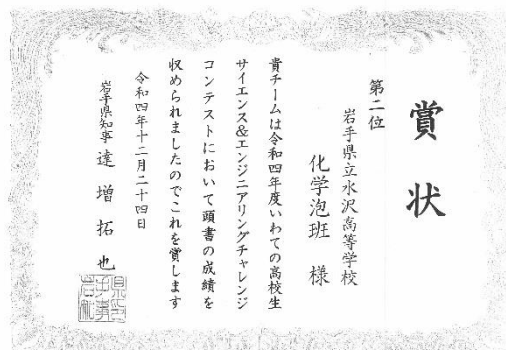
令和4年度 サイエンス&エンジニアリング チャレンジコンテスト For ILC

令和4年12月24日(土)にアイーナを会場として、サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト for ILC が行われました。このコンテストには、盛岡第一高校、盛岡第三高校それぞれ3チーム、本校理数科から5つの研究班が参加し、パワーポイントを用いて口頭発表を行いました。

このコンテストは岩手大学の教授や岩手県立総合教育センターの研修主事が審査員となっていて、1位から3位までを表彰するものでした。第1位は盛岡第一高校の「バイオエタノールの合成についての研究」でした。それに続いて本校の化学泡班が「泡立ちの良いセッケンを作る！」というテーマで第2位を受賞しました。

本校から参加したのは以下の班でした。

- ・物理音班「カーボンマイクの研究」
- ・物理電気班「クリップモーターを利用して非接触の発電機を作る」
- ・化学泡班「泡立ちの良いセッケンを作る！」
…第2位を受賞
- ・化学お茶班「お茶の味をコントロールしよう」
- ・化学色素班「身近な色素の研究」



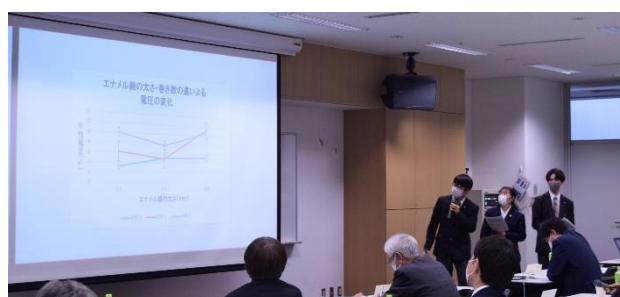
【物理音班発表者の感想】

他校のチームの発表を聞いてみて、より細かく丁寧に実験しているチームは、スライドが分かりやすく、内容も濃くて聞いていて楽しかった。私たちのチームは、過去の歴史的なものを身近な道具で再現してみるという実験だが、他のチームは未来に生かすことのできるようなアイデアをもとに実験をしていて感心した。ILCとの関連もよく考えられていて、おもしろかった。【佐々木桜】



【物理電気班発表者の感想】

今回のコンテストではパワーポイントに研究をまとめて発表することはできたが、まだ研究の足りない面が多く、より計画的な研究を1月の発表会に向けて行いたいと思った。また、盛岡一高や盛岡三高の皆さんの発表を聞いて、たくさんの刺激を受ける機会に出来て良かった。今回受けた質問や、他の班のパワーポイントなどを参考にして、次の発表に生かしていきたいです。【高橋大翔】



【化学泡班発表者の感想】

発表している時はとても緊張しましたが、ちゃんと最後まで発表出来てよかった。質疑応答でもっと答えられるように様々な観点から知識をつけたいと思った。その後の交流会も、たくさんの質問や解答が飛び交っていて、とても刺激をもらうことが出来ました。結果も2位と良い成績をもらえて本当に良かったです。今回学んだことを生かして、今後の研究と発表に生かしたいと思った。【駒林瑠菜】



【化学色素班発表者の感想】

他の学校の方々の発表を聞いて、皆それぞれの研究の内容を具体的に、聞いている人たちに分かりやすいように発表していると感じました。私たちの班の発表は、実験データが十分に足りていないこと、具体性に欠ける内容だったことなど、改善点が多くあったので、実験中にこまめにメモをとる、聞き手に伝わりやすいようにスライドや話す内容を見直しておくことが大切だと思いました。【高橋新】



【化学お茶班発表者の感想】

今日の発表では、もちろん欠点もありましたが、前回までの発表などと比べると、確実に良くなってきている、という事が自分自身で実感できたので良かったです。つぎの研究につなげられる意見もいただいて、早速次の課題研究で実践しようと思いました。また、これからの研究により一層の意欲と興味が沸いたので良かったです。次の発表までにもっと改善して、よりよい発表をしていきたいです。【前川礼佳】

